

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年10月11日(2012.10.11)

【公開番号】特開2012-46489(P2012-46489A)

【公開日】平成24年3月8日(2012.3.8)

【年通号数】公開・登録公報2012-010

【出願番号】特願2011-151340(P2011-151340)

【国際特許分類】

A 6 1 K	35/76	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	13/08	(2006.01)
A 6 1 P	1/18	(2006.01)
A 6 1 P	1/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
C 1 2 Q	1/70	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
C 1 2 N	7/00	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	35/76	Z N A
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	15/00	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	13/08	
A 6 1 P	1/18	
A 6 1 P	1/00	
A 6 1 P	37/04	
C 1 2 Q	1/70	
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
A 6 1 K	48/00	
C 1 2 N	7/00	
C 1 2 N	15/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月29日(2012.8.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

エコーウイルス血清型 E V 1 および E V 8 からなる群から選択されるエコーウイルスであって、インテグリン<sub>2</sub><sub>1</sub>を細胞への感染性のために認識するエコーウイルスの、インテグリン<sub>2</sub><sub>1</sub>を発現するガン細胞を含む腫瘍を治療するために哺乳動物に投与し、その結果、ガン細胞の少なくとも一部がウイルスによって殺される医薬の製造における使用であって、前記ガン細胞が、卵巣ガン、黒色腫、前立腺ガン、乳ガン、膵臓ガン、結腸ガン、および結腸直腸ガンからなる群から選択されるガンの細胞であるか、または卵巣ガン、黒色腫、前立腺ガン、乳ガン、膵臓ガン、結腸ガン、または結腸直腸ガンから広がっていることを特徴とする使用。

【請求項 2】

ウイルスを用いた多数の治療に哺乳動物を供することを含み、各治療におけるウイルスが同一または異なる請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

ウイルスがガン細胞に感染するさらなるウイルスとの組合せで哺乳動物に投与される請求項 1 または 2 に記載の使用。

【請求項 4】

ガン細胞が I C A M - 1 を発現し、さらなるウイルスがガン細胞への感染性のために I C A M - 1 を認識する請求項 3 に記載の使用。

【請求項 5】

さらなるウイルスが、A 1 3 , A 1 5 , A 1 8 および A 2 1 からなる群から選択されるコクサッキーウイルス血清型である請求項 4 に記載の使用。

【請求項 6】

ガン細胞が、<sub>2</sub><sub>1</sub>のアップレギュレーションされた発現を有する請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 7】

ウイルスが、哺乳動物に対して局所的に、全身的に、または腫瘍内に投与される請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 8】

インテグリン<sub>2</sub><sub>1</sub>を発現するガン細胞を含む腫瘍の治療において哺乳動物に投与するための医薬組成物であって、前記医薬組成物が、エコーウイルス血清型 E V 1 および E V 8 からなる群から選択されるエコーウイルスであって、インテグリン<sub>2</sub><sub>1</sub>を細胞への感染性のために認識し、ガン細胞の少なくとも一部を殺すことができるエコーウイルスを、医薬的に許容され得るキャリアと一緒に含み、前記ガン細胞が、卵巣ガン、黒色腫、前立腺ガン、乳ガン、膵臓ガン、結腸ガン、および結腸直腸ガンからなる群から選択されるガンの細胞であるか、または卵巣ガン、黒色腫、前立腺ガン、乳ガン、膵臓ガン、結腸ガン、または結腸直腸ガンから広がっていることを特徴とする医薬組成物。

【請求項 9】

医薬組成物が局所投与または注入のためのものである請求項 8 に記載の医薬組成物。